

平成29年8月18日

第3回市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会の書面協議の結果について

標記の書面協議の結果を下記のとおり公表いたします。

記

1. 書面協議開始日 平成29年8月3日（木）
2. 書面協議表決日 平成29年8月14日（月）
3. 協議事項
  - (1) 協議会設置要綱の改正について（協議会の構成員・会長・事務局長の任期に係る部分のみ）  
協議結果：全構成員の合意により承認。
  - (2) フォローアップ調査に係る活性化事業の目標値設定について  
協議結果：別紙により目標値を決定  
全構成員の合意により承認。

【問い合わせ先】

市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会 事務局  
一般社団法人千葉県タクシー協会 土屋、田中、竹門  
電 話 043-243-2460  
FAX 043-248-6306

平成29年8月3日

市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会構成員 各位

市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会  
会長 榛澤芳雄  
(公 印 省 略)

### 第3回市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会（書面会議）の開催について

拝啓 盛夏の候 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会の円滑な運営に深いご理解と格別なるご協力を賜り誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

さて、平成26年1月27日に施行された「特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法等の一部を改正する法律（平成25年法律第83号）」により、市原交通圏は準特定地域に指定され、指定期間は国土交通省告示第56号により平成26年1月27日から平成29年1月26日までとされておりましたが、先般、平成29年1月26日の官報告示により、特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法施行規程が改正され、市原交通圏は準特定地域として再指定（指定期間は平成29年1月27日から平成31年9月30日まで）されたところであり、既に構成員各位にはご通知を申し上げたところであります。また、これに先立ち、平成28年12月7日付けで構成員各位にお願いを致しました「市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会構成員への就任（更新）のお願い」につきましましては、事情をご理解いただき、指定期間の延長を前提として引き続き構成員にご就任いただいているところであります。

こうした状況下の中で、平成21年10月28日に制定された「市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会設置要綱

の構成員等の任期に係る規定の一部改正について、及び、平成28年12月27日付けで国土交通省自動車局長から発出された「特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法に係るフォローアップについて」（以下「通達」という。）のⅡ.2(2)に規定される、項目ごとに設定する目標値について、本来であれば協議会を開催し、構成員の皆様のご承認を頂戴するところでありますが、構成員等の任期の更新につきましましては、既に前述のとおり、平成28年12月7日付けで構成員各位に「市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会構成員への就任（更新）のお願い」を申し上げ、指定期間の延長を前提として引き続き構成員にご就任いただいているところであり、また、通達に基づく目標値の設定につきましましては、市原交通圏内タクシー事業者の協議結果を反映した目標数値であることに鑑み、今回は書面での決議を賜りたいと存じます。

つきましましては、別添の議案資料をご覧いただき、別紙「書面議決書」にご記入の上、同封の返信用封筒にて平成29年8月14日（月）までにご返信下さるよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

【議案】

第1号 市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会設置要綱の一部改正について

第2号 市原交通圏の活性化に係る調査結果と設定する目標値について

【問い合わせ先】

市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会 事務局  
一般社団法人千葉県タクシー協会 土屋、田中、竹門

電話 043-243-2460

FAX 043-248-6306

# 書面議決書

平成29年 月 日

市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会  
会長 榛澤芳雄 様

団体名等  
役職

氏

⑩

第3回市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会の書面審議について（回答）

## 1. 審議事項

(1) 議案第1号 市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会設置要綱の一部

改正について

承認する      承認しない      ←どちらかに○をつけてください。

※その他ご意見等

(2) 議案第2号 市原交通圏の活性化に係る調査結果と設定する目標値について

承認する      承認しない      ←どちらかに○をつけてください。

※その他ご意見等

## 2. その他

ご意見・ご質問等がありましたら、ご記入ください。

(案)  
市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会設置要綱 (新旧対照表)

改 正	現 行
市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会設置要綱	市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会設置要綱
制定 平成21年10月28日 一部改正 平成21年12月16日 一部改正 平成24年11月30日 一部改正 平成26年 1月24日 一部改正 平成26年 2月20日 一部改正 平成27年 7月15日 <u>一部改正 平成29年〇〇月〇〇日</u>	制定 平成21年10月28日 一部改正 平成21年12月16日 一部改正 平成24年11月30日 一部改正 平成26年 1月24日 一部改正 平成26年 2月20日 一部改正 平成27年 7月15日
<p>(目 的)</p> <p>第1条 市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会（以下「協議会」という。）は、特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法（平成21年法律第64号。以下「法」という。）の規定に基づき、市原交通圏（以下「準特定地域」という。）の関係者の自主的な取組を中心として、当該準特定地域の一般乗用旅客自動車運送事業（以下「タクシー事業」という。）の適正化及び活性化を推進することにより、一般乗用旅客自動車運送（以下「タクシー」という。）が、地域公共交通としての機能を十分に発揮できるようにするために必要となる準特定地域計画の作成等を行うために設置するものとする。</p> <p>(定 義)</p> <p>第2条 この要綱において「タクシー事業者」とは、タクシー事業を営業者をいう。</p> <p>2 この要綱において「タクシー車両」とは、タクシー事業の事業用自動車をいう。</p> <p>3 この要綱において「タクシー事業者等」とは、タクシー事業者及びタクシー事業者の組織する団体をいう。</p> <p>4 この要綱において「労働組合等」とは、タクシー車両の運転者の組織する団体をいう。</p>	<p>(目 的)</p> <p>第1条 市原地区タクシー事業適正化・活性化協議会（以下「協議会」という。）は、特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法（平成21年法律第64号。以下「法」という。）の規定に基づき、市原交通圏（以下「準特定地域」という。）の関係者の自主的な取組を中心として、当該準特定地域の一般乗用旅客自動車運送事業（以下「タクシー事業」という。）の適正化及び活性化を推進することにより、一般乗用旅客自動車運送（以下「タクシー」という。）が、地域公共交通としての機能を十分に発揮できるようにするために必要となる準特定地域計画の作成等を行うために設置するものとする。</p> <p>(定 義)</p> <p>第2条 この要綱において「タクシー事業者」とは、タクシー事業を営業者をいう。</p> <p>2 この要綱において「タクシー車両」とは、タクシー事業の事業用自動車をいう。</p> <p>3 この要綱において「タクシー事業者等」とは、タクシー事業者及びタクシー事業者の組織する団体をいう。</p> <p>4 この要綱において「労働組合等」とは、タクシー車両の運転者の組織する団体をいう。</p>

5 この要綱において「地域住民」とは、タクシーを利用する地域住民に身近な団体又は組織の代表者をいう。

(実施事項)

第3条 協議会は、次に掲げる事項を実施するものとする。

- (1) 準特定地域計画の作成
- (2) 次に掲げる準特定地域計画の実施に係る連絡調整
  - ① 準特定地域計画に定められた事業の円滑な実施のために必要な場合における当該事業の関係者の招集
  - ② 準特定地域計画に定められた事業の実施主体とされた者以外の者に対する必要な協力の要請
  - ③ ①②に掲げるもののほか、協議会が必要と認める準特定地域計画の実施に係る連絡調整
- (3) 準特定地域におけるタクシー事業の適正化及び活性化の推進に関し必要な次に掲げる事項の協議
  - ① 協議会の運営方法
  - ② ①に掲げるもののほか、協議会の運営等に必要と認める事項

(協議会の構成員)

第4条 協議会の構成員は、次の区分にそれぞれ掲げる者とし、任期は平成31年9月30日までとする。

(注) (1)～(4)は、法第8条第1項に規定する構成員、(5)～(7)は、同第2項に規定する構成員。

- (1) 関係地方公共団体の長又はその指名する者
- (2) タクシー事業者等
- (3) 労働組合等
- (4) 地域住民
- (5) 学識経験者  
榛澤 芳雄(日本大学 名誉教授)
- (6) その他タクシー事業の適正化及び活性化に資する他の事業を営む者  
東日本旅客鉄道株式会社千葉支社総務部企画室長
- (7) その他協議会が必要と認める者
  - ① 千葉県警察本部交通部交通指導課長
  - ② 千葉県警察本部交通部交通規制課長
  - ③ 千葉労働局労働基準部監督課長
  - ④ 千葉県タクシー運転者登録センター所長

2 協議会は、前項の(1)～(4)の区分に掲げる者が任意に加入し、又は脱

5 この要綱において「地域住民」とは、タクシーを利用する地域住民に身近な団体又は組織の代表者をいう。

(実施事項)

第3条 協議会は、次に掲げる事項を実施するものとする。

- (1) 準特定地域計画の作成
- (2) 次に掲げる準特定地域計画の実施に係る連絡調整
  - ① 準特定地域計画に定められた事業の円滑な実施のために必要な場合における当該事業の関係者の招集
  - ② 準特定地域計画に定められた事業の実施主体とされた者以外の者に対する必要な協力の要請
  - ③ ①②に掲げるもののほか、協議会が必要と認める準特定地域計画の実施に係る連絡調整
- (3) 準特定地域におけるタクシー事業の適正化及び活性化の推進に関し必要な次に掲げる事項の協議
  - ① 協議会の運営方法
  - ② ①に掲げるもののほか、協議会の運営等に必要と認める事項

(協議会の構成員)

第4条 協議会の構成員は、次の区分にそれぞれ掲げる者とし、任期は平成29年1月26日までとする。

(注) (1)～(4)は、法第8条第1項に規定する構成員、(5)～(7)は、同第2項に規定する構成員。

- (1) 関係地方公共団体の長又はその指名する者
- (2) タクシー事業者等
- (3) 労働組合等
- (4) 地域住民
- (5) 学識経験者  
榛澤 芳雄(日本大学 名誉教授)
- (6) その他タクシー事業の適正化及び活性化に資する他の事業を営む者  
東日本旅客鉄道株式会社千葉支社総務部企画室長
- (7) その他協議会が必要と認める者
  - ① 千葉県警察本部交通部交通指導課長
  - ② 千葉県警察本部交通部交通規制課長
  - ③ 千葉労働局労働基準部監督課長
  - ④ 千葉県タクシー運転者登録センター所長

2 協議会は、前項の(1)～(4)の区分に掲げる者が任意に加入し、又は脱

退することができるものとし、かつ、前項の（５）～（７）の区分に掲げる者が任意に脱退できるものとする。

３ 協議会への加入又は協議会から脱退しようとする者は事務局長に申し出をするものとする。

ただし、第５条第１３項の規定に基づき協議会の開催の公表があった場合には、協議会の開催日の３０日前までに申し出があった者について、当該協議会に構成員として参画できるものとする。

４ 協議会の構成員の把握は事務局長が行うものとし、協議会の場において一覧形式等により示すものとする。

#### （協議会の運営）

第５条 協議会に会長をおき、協議会の構成員の中からこれを充てる。

２ 会長は、協議会を代表し、協議の場を総括する。

３ 会長の任期は平成３１年９月３０日までとする。

４ 会長に事故がある場合には、あらかじめ会長が指名する者がその職務を代理する。

５ 協議会には事務局を設置する。

６ 事務局に事務局長をおく。事務局長は会長が指名し、協議会に報告する。

７ 事務局長は、協議会の運営に関する事務を総括する。

８ 事務局長の任期は平成３１年９月３０日までとする。

９ 各区分毎の構成員の発言時間の配分は、協議会の開催予定時間の１５％を上限として会長が割り振るものとする。

１０ 協議会は、協議会の構成員の過半数の出席がなければ成立しないものとする。

また、必要に応じて代理出席を認めることができるものとする。

１１ 協議会の議決方法は、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めるとおりとする。

（１）会長の選出を議決する場合

第４条第１項（２）及び（３）に掲げる構成員はその区分毎に１個の議決権を、その他の構成員については各自１個の議決権を与えるものとし、議決権の過半数に当たる多数をもって行う。

（２）設置要綱の変更を議決する場合

次に掲げる要件を全て満たすことをもって行う。

① 協議会の構成員である地方公共団体の長が全て合意すること。

② 設置要綱の変更について合意するタクシー事業者が準特定地域内の営業所に配置するタクシー車両の台数の合計が、協議会の構成員

退することができるものとし、かつ、前項の（５）～（７）の区分に掲げる者が任意に脱退できるものとする。

３ 協議会への加入又は協議会から脱退しようとする者は事務局長に申し出をするものとする。

ただし、第５条第１３項の規定に基づき協議会の開催の公表があった場合には、協議会の開催日の３０日前までに申し出があった者について、当該協議会に構成員として参画できるものとする。

４ 協議会の構成員の把握は事務局長が行うものとし、協議会の場において一覧形式等により示すものとする。

#### （協議会の運営）

第５条 協議会に会長をおき、協議会の構成員の中からこれを充てる。

２ 会長は、協議会を代表し、協議の場を総括する。

３ 会長の任期は平成２９年１月２６日までとする。

４ 会長に事故がある場合には、あらかじめ会長が指名する者がその職務を代理する。

５ 協議会には事務局を設置する。

６ 事務局に事務局長をおく。事務局長は会長が指名し、協議会に報告する。

７ 事務局長は、協議会の運営に関する事務を総括する。

８ 事務局長の任期は平成２９年１月２６日までとする。

９ 各区分毎の構成員の発言時間の配分は、協議会の開催予定時間の１５％を上限として会長が割り振るものとする。

１０ 協議会は、協議会の構成員の過半数の出席がなければ成立しないものとする。

また、必要に応じて代理出席を認めることができるものとする。

１１ 協議会の議決方法は、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めるとおりとする。

（１）会長の選出を議決する場合

第４条第１項（２）及び（３）に掲げる構成員はその区分毎に１個の議決権を、その他の構成員については各自１個の議決権を与えるものとし、議決権の過半数に当たる多数をもって行う。

（２）設置要綱の変更を議決する場合

次に掲げる要件を全て満たすことをもって行う。

① 協議会の構成員である地方公共団体の長が全て合意すること。

② 設置要綱の変更について合意するタクシー事業者が準特定地域内の営業所に配置するタクシー車両の台数の合計が、協議会の構成員

であるタクシー事業者が当該準特定地域内の営業所に配置するタクシー車両の台数の合計の過半数であること。

- ③ 設置要綱の変更について合意するタクシー協会等の構成員となっているタクシー事業者が準特定地域内の営業所に配置するタクシー車両の台数の合計が、協議会の構成員であるタクシー協会等の構成員となっているタクシー事業者が当該準特定地域内の営業所に配置するタクシー車両の台数の合計の過半数であること。
- ④ 労働組合等として参加している構成員の過半数が合意すること。
- ⑤ 地域住民として参加している構成員の過半数が合意すること。
- ⑥ 法第8条第2項に掲げる者に該当する構成員の過半数が合意すること。

(3) 準特定地域計画の作成及び変更を議決する場合

次に掲げる要件を全て満たすことをもって行う。

- ① (2) ①及び③から⑤までに掲げる要件を満たしていること。
- ② 準特定地域計画に合意するタクシー事業者が準特定地域内の営業所に配置するタクシー車両の台数の合計が、当該準特定地域内の営業所に配置されるタクシー車両の総台数の過半数であること。
- ③ 協議会の構成員である関係行政機関が全て合意すること。
- ④ 法第8条第2項各号に掲げる者に該当する構成員（関係行政機関を除く。）の過半数が合意すること。
- ⑤ 法第8条第2項に掲げる者に該当する構成員のうち準特定地域計画に定められた事業の実施主体とされたものが合意すること。

(4) (1) から (3) まで以外の議決を行う場合

次に掲げる要件を全て満たすことをもって行う。

- ① 会長及び事務局長が合意すること。
- ② 合意するタクシー事業者が準特定地域内の営業所に配置するタクシー車両の台数の合計が、協議会の構成員であるタクシー事業者が当該準特定地域内の営業所に配置するタクシー車両の台数の合計の過半数であること。
- ③ ①及び②以外の構成員において、第4条第1項(3)に掲げる構成員はその区分毎に1個の議決権を、その他の構成員については、各自1個の議決権を与えるものとし、過半数が合意すること。

12 協議会は、準特定地域計画作成後も定期的に開催することとする。また、会長は、必要に応じて、協議会を開催することができるものとし、協議会の構成員は、会長に対して協議会の開催を要求することができるものとするが、協議会開催の是非は会長が決めるものとする。

13 会長は、協議会を開催するに当たり、原則として協議会開催日の45日

であるタクシー事業者が当該準特定地域内の営業所に配置するタクシー車両の台数の合計の過半数であること。

- ③ 設置要綱の変更について合意するタクシー協会等の構成員となっているタクシー事業者が準特定地域内の営業所に配置するタクシー車両の台数の合計が、協議会の構成員であるタクシー協会等の構成員となっているタクシー事業者が当該準特定地域内の営業所に配置するタクシー車両の台数の合計の過半数であること。
- ④ 労働組合等として参加している構成員の過半数が合意すること。
- ⑤ 地域住民として参加している構成員の過半数が合意すること。
- ⑥ 法第8条第2項に掲げる者に該当する構成員の過半数が合意すること。

(3) 準特定地域計画の作成及び変更を議決する場合

次に掲げる要件を全て満たすことをもって行う。

- ① (2) ①及び③から⑤までに掲げる要件を満たしていること。
- ② 準特定地域計画に合意するタクシー事業者が準特定地域内の営業所に配置するタクシー車両の台数の合計が、当該準特定地域内の営業所に配置されるタクシー車両の総台数の過半数であること。
- ③ 協議会の構成員である関係行政機関が全て合意すること。
- ④ 法第8条第2項各号に掲げる者に該当する構成員（関係行政機関を除く。）の過半数が合意すること。
- ⑤ 法第8条第2項に掲げる者に該当する構成員のうち準特定地域計画に定められた事業の実施主体とされたものが合意すること。

(4) (1) から (3) まで以外の議決を行う場合

次に掲げる要件を全て満たすことをもって行う。

- ① 会長及び事務局長が合意すること。
- ② 合意するタクシー事業者が準特定地域内の営業所に配置するタクシー車両の台数の合計が、協議会の構成員であるタクシー事業者が当該準特定地域内の営業所に配置するタクシー車両の台数の合計の過半数であること。
- ③ ①及び②以外の構成員において、第4条第1項(3)に掲げる構成員はその区分毎に1個の議決権を、その他の構成員については、各自1個の議決権を与えるものとし、過半数が合意すること。

12 協議会は、準特定地域計画作成後も定期的に開催することとする。また、会長は、必要に応じて、協議会を開催することができるものとし、協議会の構成員は、会長に対して協議会の開催を要求することができるものとするが、協議会開催の是非は会長が決めるものとする。

13 会長は、協議会を開催するに当たり、原則として協議会開催日の45日



前までにその旨を公表するものとする。

14 協議会は原則として公開とする。ただし、開催日時及び場所、議題、協議の概要、議決事項等を記載した議事概要の公開をもってこれに代えることができる。

15 会長は、次に掲げる事項に限り、やむを得ない事由により協議会を開催する余裕のない場合においては、事案の概要を記載した書面を構成員に送付し、その意見の聴取及び賛否を確認し、その結果をもって協議会の決議に代えることができる。

なお、本規定に基づく取扱いを行う場合にあつては、第4条第3項中の「30日前」とあるのは「3日前」とし、第5条第13項中の「45日前」とあるのは「10日前」とする。

- (1) 新規許可、営業区域の設定又は増車に係る意見聴取に関する意見書の提出の議決
- (2) 公定幅運賃に係る意見聴取に関する意見書の提出の議決

(分科会)

第6条 協議会の運営のため、協議会会長が必要と認めるときは、協議会の下に分科会を設置することができる。

- 2 分科会は、第3条の実施事項の内容に応じ、第4条の構成員のうちから協議会会長が必要と認められた者で構成する。
- 3 分科会には、会長をおき、分科会会長は、協議会会長が指名する。
- 4 分科会で検討した内容は、協議会へ報告するものとする。
- 5 その他分科会の運営に関して必要な事項は、分科会会長が協議会会長と協議し定めるものとする。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が協議会に諮り定める。

前までにその旨を公表するものとする。

14 協議会は原則として公開とする。ただし、開催日時及び場所、議題、協議の概要、議決事項等を記載した議事概要の公開をもってこれに代えることができる。

15 会長は、次に掲げる事項に限り、やむを得ない事由により協議会を開催する余裕のない場合においては、事案の概要を記載した書面を構成員に送付し、その意見の聴取及び賛否を確認し、その結果をもって協議会の決議に代えることができる。

なお、本規定に基づく取扱いを行う場合にあつては、第4条第3項中の「30日前」とあるのは「3日前」とし、第5条第13項中の「45日前」とあるのは「10日前」とする。

- (1) 新規許可、営業区域の設定又は増車に係る意見聴取に関する意見書の提出の議決
- (2) 公定幅運賃に係る意見聴取に関する意見書の提出の議決

(分科会)

第6条 協議会の運営のため、協議会会長が必要と認めるときは、協議会の下に分科会を設置することができる。

- 2 分科会は、第3条の実施事項の内容に応じ、第4条の構成員のうちから協議会会長が必要と認められた者で構成する。
- 3 分科会には、会長をおき、分科会会長は、協議会会長が指名する。
- 4 分科会で検討した内容は、協議会へ報告するものとする。
- 5 その他分科会の運営に関して必要な事項は、分科会会長が協議会会長と協議し定めるものとする。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が協議会に諮り定める。

本省通達Ⅱ. 2(2)に規定される、項目ごとに設定する目標値

市原交通圏

事業者数	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	車両数	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	運転者数	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末
	15	14	14		385	385	385		705	692	504

※一般タクシー事業者のみ

※一般タクシー車両のみ

調査項目	調査結果									目標値			
	平成26年度末			平成27年度末			平成28年度末			平成29年度末			
	取組事業者数	受講又は認定運転者数	導入車両数	取組事業者数	受講又は認定運転者数	導入車両数	取組事業者数	受講又は認定運転者数	導入車両数	取組事業者数	受講又は認定運転者数	導入車両数	
目標値を設定する項目	① 妊婦・子ども向けタクシー 取組事業者数及び認定運転者数シェア	3	10	/	3	10	/	3	10	/	4	12	/
	② UD研修 受講者数及び受講運転者数シェア	0	0	/	0	0	/	0	0	/	12	12	/
	③ 観光タクシー 取組事業者数・認定運転者数及び認定運転者数シェア	0	0	/	0	0	/	0	0	/	0	0	/
	④ 外国語講習 受講者数及び受講運転者数シェア	0	0	/	0	0	/	3	6	/	12	19	/
	⑤ アプリ配車の 導入事業者数及び対応車両数シェア	0	/	0	0	/	0	1	/	30	2	/	68
目標値を設定しない項目	⑥ UDタクシーの 導入車両数及び導入車両数シェア	1	/	1	1	/	1	1	/	1	3	/	12
	⑦ 環境対応車の 導入車両数及び導入車両数シェア	0	/	0	0	/	0	0	/	0	0	/	0
	⑧ 先進安全自動車(ASV)の 導入車両数及び導入車両数シェア	1	/	5	1	/	5	1	/	5	3	/	16
	⑨ クレジットカード・電子マネー等 導入事業者数及び導入車両数シェア	10	/	252	10	/	282	10	/	287	11	/	307